

女性リーダー 訪問

元片野町内会長
和田つじ子さんに
インタビュー



○何をすることもみんなで話し合っ

平成18年度に市内で初めての女性町内会長に就任しました。2年前から会計や副会長として、町内会の運営に携わっていたところ、会長にとのことがあり、他のふさわしい人を探してくださいと一度は辞退しましたが、「ぜひ女性の町内会長を」という周りからの声援におされて、お引き受けすることにしました。

就任してからは、“何をすることもみんなで話し合ってから決定すること”を基本とし、誰でも話しやすい雰囲気づくりを心がけ、ただ無我夢中でした。周囲からはとてもめずらしがられました。女性だという意識を特別持つことなく、みなさんの協力により楽しく活動することができました。

○誰にもやさしい使いやすい公民館に

ちょうど公民館の建て替えの計画を進めていた時であったので、みなさんの意見を取り入れるため、住民説明会を開催しました。誰にもやさしい公民館にしたいとエレベーター、屋根の融雪装置、冷暖房の完備の三つを提案。最初は不要であるという意見も多くありましたが、みんなが使いやすい施設にしたいとの思いを理解してくださる方も増え、それらを整備することができました。完成後、設備導入に反対していた人たちからも、「とても良い公民館である」と言ってもらえることができ、みんなが満足できる公民館になってうれしく思います。

任期終了後の現在は、町内会で実施している「子ども見守り隊」活動の支援の輪を広げる活動をしています。

○家族の理解と協力で男女共同参画

男性が得意なこと、女性が得意なことがあるはずなので、お互いが協調することが大切です。また、男女共同参画を推進するためには、家族の理解と協力が重要で、まずは安定した家庭をつくるのが大切だと思います。

力をあわせて花づくり
みんなの心を和ませるきれいな
花が地域をかざります

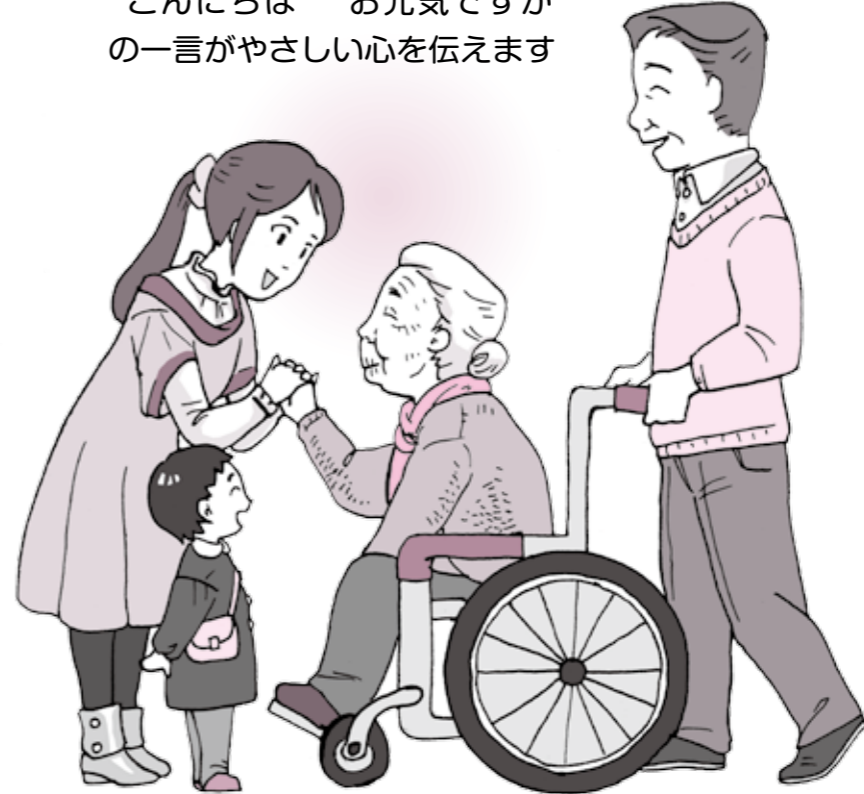


見守り隊

安全を見守る活動は
ボランティアの熱意に支えられています

声かけ

“こんにちは” “お元気ですか”
の一言がやさしい心を伝えます



見守る人、見守られる人
互いに支え合い、助け合う
優しいことばのあふれるまちは
誰もが住み続けたい 活力あるまちに
なっていくでしょう

絆きずなの強さは地域の力
誰もが住みよい地域づくりをみんなので